

本日 共 封鎖 京大反戦 スト貫徹へ

◆ストライキへの決起がはじまった

中央執行委員会が提起してきた10月27日ストライキ方針に対し、23日までに35クラスで賛同をめぐる採決が行われた。うち**1クラスからスト賛同の決議**が上がっている。さらに、クラス賛同には至らないまでも、中執の決断に応え「ストライキをやる」という賛成票も集まり、その合計は60票を超えた。中執はこれらの決起に責任をとるためにも、**10.27京大反戦ストライキを貫徹します**。京大生はストに立ち上がり、キャンパス昼集会に集まろう！

◆情勢は煮詰まっている

10.27京大反戦ストの決定的な意義は、その4日後の**11月1日**に韓国、トルコ、日本で起きることを見れば一層はっきりとしてくる。

その日、韓国ソウルで日韓首脳会談が行われる。当然、安倍政権の安保法可決を受けて、「朝鮮有事」をめぐる安全保障対策にも言及されることになる。その内容は、10月22日の防衛相会談を見れば察する

に足る。そこでは対北朝鮮の安保連携強化が言われる一方、中谷防衛相が暗に「**自衛隊は韓国政府の合意がなくても北**

朝鮮で活動できる」と述べたことを自ら暴露したことが騒がれている。安倍政権が安保法可決をもって「朝鮮有事」へ積極介入する意思は明らかだ。

同じ日、トルコでは総選挙が行われる。クルド人虐殺とシリア空爆を激化させるエルドアン政権が単独過半数の議席を維持するかが焦点になっている。

これに先立つ在外投票が行われた25日、在日本トルコ大使館の前では計約600名のトルコ人とクルド人の「衝突」が発生した。幸い死者はなかったが、これがトルコ・シリア両国内で起きていることの億



日米韓3か国が緊密に情報共有し北朝鮮に連携して対応で一致



トルコ人グループとクルド系トルコ人グループ 約600人による衝突発生

中執

京都大学全学自治会同学会中央執行委員会
email: dougakukai.kyoto@gmail.com
web: <http://dougakukai.blog.fc2.com/>

すべての京大生は

万分の一の現実だ。戦争がそこにある。私たちは傍観させられるしかないのか？



そうではない。
東京・日比谷では
11.1労働者総決起
集会が行われる。
韓国、トルコで政

府の戦争に反対しゼネラル・ストライキを闘っている労働組合の仲間が年に一度、日比谷に駆けつける。ここに日本の労働者・学生が同じ闘いをもって駆けつけられるのかどうか。三度の世界戦争をとめられるのかどうかの未来がここにかかっている。

◆世界の学生が立ち上がっている

世界各国の反戦闘争は、どこの国を見ても学生が先頭に立っている。10月10日の首都アンカラでの反戦デモを狙った爆弾テロで友人を失ったトルコの大学生たちは12日、トルコ政府の戦争阻止を訴えてストライキに立ち上がった。

(以下はトルコ語新聞の翻訳サイトから引用) 午前11時40分：メルスィン大学の学生たちがボイコットを行った／午前11時20分：イズミルで何千もの人々がバスマネ広場に集まり始めた。混雑が進行している／午前11時8分：何千もの中東工科大学 (ODTU) の学生たちがデモ行進を行った／午前10時30分：ボアシチ大学の人々がボイコットのために集まった／午前10時20分：ミマル・スィナン大学でボイコットが始まった／午前10時5分：アンカラ大学の医学部でも追悼集会があった。

韓国でも軍事政権時代を賛美する教科書改訂に反対して中高生が立ち上がった(写真)。



これらの闘いととも、安保法成立阻止の国会前闘争を先頭で闘った日本の学生は全国大学反戦ストライキを実現しよう。突破口を開くのは京都大学以外にない。中執はすべての負託に胸を張って応え、この偉大な闘いをなん

としても京大で実現する決意だ。

◆大学＝授業＝支配をぶち破る

「ストライキをやりたい」。中執の想定する以上の規模で声が上がっている。いまの大学と授業のあり方に対する多様かつ広範な怒りが存在していることを、クラス討論と決議からはっきりつかみとることができる。

授業を粉碎してストライキに立ち上がるのはいまだ。いかに大きな声をあげ投票で意思を示しても、自治会が非公認化され、キャンパスで授業が平常に行われる限り、大学の現状維持をどこまでも許すことにしかない。

中執は、大学の現状維持を**もはや一秒たりとも認めつもりはない**。京大を含めた国立大また私大の学費が高すぎて、しかし、当然にも夢を諦めることもせず防衛医科大学に通う学生が、今年3月の安保法施行後には学費と奨学金あわせて4500万円の借金返済の代わりに戦場へ送られるのだ。われわれは看過できない。

公安警察による昨年10～11月の京大構内でのスパイ活動。スパイ工作を摘発した学生への、先日の「監禁致傷」でっち上げ逮捕(その後無罪放免)。学生寮への不当な家宅搜索。これらを黙認し容認した上で、自治会やサークル活動を攻撃し、学生から「椅子に坐って黙って授業を受ける」以外のすべてを奪う総長体制に、もう黙っていることはできない。

激化または切迫する世界戦争危機の反面で、ともに闘おうと差し伸べられている海外の仲間の手に、見えないふりをすることはできない。

戦争をとめるための百篇のすばらしい理屈の先に、決断と具体的行動とがいま求められている。**同学会中執は本日10月27日京大反戦ストライキを絶対に貫徹します。すべての学友に決起を呼びかけます。**

授業を粉碎しストへ

すべての京大生は

万分の一の現実だ。戦争がそこにある。私たちは傍観させられるしかないのか？

としても京大で実現する決意だ。



そうではない。

**東京・日比谷では
11.1労働者総決起
集会が行われる。
韓国、トルコで政**

府の戦争に反対しゼネラル・ストライキを闘っている労働組合の仲間が年に一度、日比谷に駆けつける。ここに日本の労働者・学生が同じ闘いをもって駆けつけられるのかどうか。三度の世界戦争をとめられるのかどうかの未来がここに掛かっている。

◆世界の学生が立ち上がっている

世界各国の反戦闘争は、どこの国を見ても学生が先頭に立っている。10月10日の首都アンカラでの反戦デモを狙った爆弾テロで友人を失った**トルコの大學生たちは12日、トルコ政府の戦争阻止を訴えてストライキに立ち上がった。**

(以下はトルコ語新聞の翻訳サイトから引用) 午前11時40分：メルスィン大学の学生たちがボイコットを行った／午前11時20分：イズミルで何千もの人々がバスマネ広場に集まり始めた。混雑が進行している／午前11時8分：何千もの中東工科大学 (ODTÜ) の学生たちがデモ行進を行った／午前10時30分：ボアジチ大学の人々がボイコットののために集まった／午前10時20分：ミマル・スィナン大学でボイコットが始まった／午前10時5分：アンカラ大学の医学部でも追悼集会があった。

韓国でも軍事政権時代を賛美する教科書改訂に反対して中高生が立ち上がった(写真)。



これらの闘いととも、安保法成立阻止の国会前闘争を先頭で闘った日本の学生は全国大学反戦ストライキを実現しよう。突破口を開くのは京都大学以外にない。中執はすべての負託に胸を張って応え、この偉大な闘いをなん

◆大学＝授業＝支配をぶち破る

「ストライキをやりたい」。中執の想定する以上の規模で声が上がっている。いまの大学と授業のあり方に対する多様かつ広範な怒りが存在していることを、クラス討論と決議からはっきりつかみとることができる。

授業を粉碎してストライキに立ち上がるのはいまだ。いかに大きな声をあげ投票で意思を示しても、自治会が非公認化され、キャンパスで授業が平常に行われる限り、大学の現状維持をどこまでも許すことにしかならない。

中執は、大学の現状維持をもちや一秒たりとも認めるつもりはない。京大を含めた国立大また私大の学費が高すぎて、しかし、当然にも夢を諦めることもせず防衛医科大学に通う学生が、今年3月の安保法施行後には学費と奨学金あわせて4500万円の借金返済の代わりに戦場へ送られるのだ。われわれは看過できない。

公安警察による昨年10～11月の京大構内でのスパイ活動。スパイ工作を摘発した学生への、先日の「監禁致傷」でっち上げ逮捕(その後無罪放免)。学生寮への不当な家宅搜索。これらを黙認し容認した上で、自治会やサークル活動を攻撃し、学生から「椅子に坐って黙って授業を受ける」以外のすべてを奪う総長体制に、もう黙っていることはできない。

激化または切迫する世界戦争危機の反面で、ともに闘おうと差し伸べられている海外の仲間の手に、見えないふりをすることはできない。

戦争をとめるための百篇のすばらしい理屈の先に、決断と具体的行動とがいま求められている。**同学会中執は本日10月27日京大反戦ストライキを絶対に貫徹します。すべての学友に決起を呼びかけます。**

授業を粉碎しストへ

本日 共封鎖 京大反戦スト貫徹へ

◆ストライキへの決起がはじまった

中央執行委員会が提起してきた10月27日ストライキ方針に対し、23日までに35クラスで賛同をめぐる採決が行われた。うち**1クラスからスト賛同の決議**が上がっている。さらに、クラス賛同には至らないまでも、中執の決断に応え「ストライキをやる」という賛成票も集まり、その合計は60票を超えた。中執はこれらの決起に責任をとるためにも、**10.27京大反戦ストライキを貫徹します**。京大生はストに立ち上がり、キャンパス昼集会に集まろう！

◆情勢は煮詰まっている

10.27京大反戦ストの決定的な意義は、その4日後の**11月1日**に韓国、トルコ、日本で起きることを見れば一層ははっきりとしてくる。

その日、韓国ソウルで日韓首脳会談が行われる。当然、安倍政権の安保法可決を受けて、「朝鮮有事」をめぐる安全保障対策にも言及されることになる。その内容は、10月22日の防衛相会談を見れば察する

に足る。そこでは対北朝鮮の安保連携強化が言われる一方、中谷防衛相が暗に「**自衛隊は韓国政府の合意がなくても北朝鮮で活動できる**」と述べたことを自ら暴露したことが騒がれている。安倍政権が安保法可決をもって「朝鮮有事」へ積極介入する意思は明らかだ。

同日、トルコでは総選挙が行われる。クルド人虐殺とシリア空爆を激化させるエルドアン政権が単独過半数の議席を維持するかが焦点になっている。

これに先立つ在外投票が行われた25日、在日本トルコ大使館の前では計約600名のトルコ人とクルド人の「衝突」が発生した。幸い死者はなかったが、これがトルコ・シリア両国内で起きていることの億



日米韓3か国が秘密に情報共有し北朝鮮に連携して対応で一致



トルコ人グループとクルド系トルコ人グループの衝突発生。約600人による衝突発生

中執

京都大学全学自治会同学会中央執行委員会
email: dougakukai.kyoto@gmail.com
web: <http://dougakukai.blog.fc2.com/>

バリスト貫徹！

「大学の執行部として取り組む問題ではない」と拒否し続けた。他方で、昨年10月～11月の京大キャンパスへの公安刑事侵入と、反戦運動を担う学生へのでっち上げ逮捕に対し、山極寿一総長は「今後は学内での捜査には協力したい」と述べ、逆にその公安刑事を摘発した同学会中執に対し「（学生・教職員の活動は）世間を騒がせるものであってはならない」と言い放ったのだ！そしてその後の弾圧もすべて黙認し、同学会中執の非公認化・吉田寮自治会への入寮募集停止・総人サークルのボックス取り上げ等を行っている。学生から、「黙って授業を受ける」以外の選択肢を奪い去り、警察権力をも導入して反戦運動を叩き潰すということだ！

軍事研究、キャリア教育・グローバル教育、「役に立たない」人文系科目の廃止・再編、「日の丸、君が代」の強制。次の社会のあり方を提起するはずの大学がどんどん変質している。学生は上から降ってくる観念をプログラミングされ、声を上げない、「戦争する社会」のために働くマシンになる。「就職するため」「卒業するため」。生きるために「仕方ない」と動員されていく。本当にそれでいいのか！？

「大学の主体は学生」、その意志と力を示すのが今回のストライキだ。本当に力を持っているのは私たちだ。すべての生産・流通を担っているのは労働者人民であり、未来を作るのは学生だ。今、第一共通棟を封鎖している。バリケード・ストライキを行っている。国際高等教育院の業務も、1共で行われる授業もすべて停止している。平穏無事なキャンパス支配の中に、ひとつの空白を作り出したのだ。

もちろん、これはほんの一步にすぎない。しかしすべてをひっくり返していく号砲だ。東北大学学生自治会がストを準備している。広島大・沖縄大でもストを呼びかける執行部が誕生した。ビラを撒いたら逮捕される監獄大学＝法政大で自治会を再建する機運が高まっている。同学会中執はこのストをやり抜き、世界中で闘う仲間と、そして日本で「ストライキで戦争を止めよう」と闘う動労千葉をはじめとする労働組合と合流し、11・1労働者総決起集会に結集するつもりだ。すべての京大生のみなさん、共にこのバリストを守り抜き、ここを起点に、本当に戦争を止める国際連帯とゼネストを作り出そう！

12時～13時半、
吉田南キャンパス集会に合流しよう！

11・1労働者総決起集会へ！



なぜ我々はバリケードを築いたか

同学会中執は、猛烈に怒っている。9月19日に強行採決—成立した戦争法をもって、安倍政権が侵略戦争に乗り出そうとしている。すでに10月22日の日韓防衛相会談で中谷防衛相は「自衛隊は韓国政府の合意なしに北朝鮮で活動する」意思を示し、独自に北朝鮮を侵略する構えだ。朝鮮半島をめぐる大国が全面衝突する第三次世界大戦の火ぶたが切って落とされようとしている。この中で、未来を語る大学が無風であっていいのか。私たち学生は黙って授業を受けているだけでいいのか！？

トルコ政府のシリア空爆に反対する反戦デモを狙った爆弾テロで多くの仲間を失いながらも、トルコの労働者・学生は命がけで戦争阻止のストライキに立ち上がっている。韓国の労働組合・民主労総は3度のゼネストから、指導部全員が指名手配され、数百人が逮捕される大弾圧を跳ね返し、戦争阻止・パククネ政権打倒の11・1民衆総蜂起を構えている。このトルコ・韓国の労働者が力ある国際連帯を求めて来日し、11・1労働者総決起集会に参加する。この思いにどう応えるのか！？自治会がない、政治ビラ一枚も撒けない、討論する場所がない、反戦集会を開けない、そういう首都圏をはじめとした日本中の大学から、それでも戦争を止めたいと国会前に集まった学生たちの思いにどう応えるのか！？

● 戦争協力の山極総長体制に代わり、学生意思と力を示すストライキだ！

もはや京大は「中立」でも「リベラル」でもない。私たちの身の回りで進む軍事研究や経済的徴兵の戦争動員、そして安倍の戦争政治に対して、京大当局は戦争反対の立場を示すことを